

永福の本欄

2016年

11月号

【今月の特集】

土木と産業



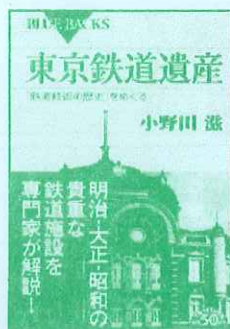
特集コーナー

土木と産業



『東京鉄道遺産 「鉄道技術の歴史」をめぐる』

小野田滋／著 講談社
請求記号:A(ブルーボックスB-1817)
ISBN:978-4-06-257817-2



明治維新とともに江戸から名を改めた東京は、鉄道や道路をはじめとした社会基盤施設が約150年にわたって建設されてきました。本書はそこから東京に現存する歴史的な鉄道構造物を訪ね、その見所を専門的に紹介しています。

道路、鉄道、橋梁、トンネル、運河、港湾、ダムなどの土木構造物は、産業基盤の形成と人間生活の向上に大きく貢献してきました。そんな土木の世界を、歴史的な施設などを中心に見てみましょう。

『東京今昔橋めぐり』

東京今昔研究会／編著 ミリオン出版
請求記号:515ト
ISBN:978-4-8130-2205-3



江戸時代から、東京の町には、多くの橋がかけてられました。日本橋、京橋など橋の名前が地名にもなっています。今も残る橋を、江戸時代に描かれた錦絵、明治から昭和初期に撮影された写真とともにエピソードつきで紹介しています。

『タワー ランドマークから紐解く地域文化』

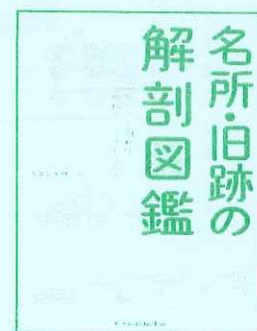
津川康雄／著 ミネルヴァ書房
請求記号:523ツ
ISBN:978-4-623-07787-8



東京タワーやあべのハルカスなど日本各地にあるタワーや高層ビルは様々な意図でつぐられ、地域に多くの影響を与えています。本書はそんな高層建築物を紹介するだけにとどまらず各地域の魅力を再発見できる一冊です。

『名所・旧跡の解剖図鑑』

見かたを知れば旅はもっと楽しくなる』
スタジオワーク／著 エクスナレッジ
請求記号:521ス
ISBN:978-4-7678-1857-3



日本の歴史ある社寺やパワースポット。それらは何故その場所に建てられ、なぜその向きなのか、ご存知ですか？この本は、全国75ヶ所の名所・旧跡について、イラストでわかりやすく解説しています。きっと、新たな発見があるはず！？

新着図書コーナー

『日本まじない食図鑑 お守りを食べ、縁起を味わう』

吉野りり花／著 青弓社
請求記号: 383. 8ヨ
ISBN: 978-4-7872-2066-0



この本でいう「まじない食」とは日本に昔から伝わる神事や行事で、願いを託してお供えしたり食べたりする料理を指します。豆腐を食べて一年間の嘘をなかったことにする祭りや、ナスを担いで町を練り歩く神輿など、読むと実際に足を運んでみたいくなります。

『環境と経済がまわる、森の国ドイツ』

森まゆみ／著 晶文社
請求記号: 501モ
ISBN: 978-4-7949-6933-0



福島第一原発の事故を受け、脱原発の道を選んだドイツ。原発に頼らない社会をどのようにつくりかしているのか。環境都市フライブルクなどを訪ね、エコビジネス・市民の環境対策や原発に対する考えを取材。原発のありかたを問いかけます。

『浮世絵でみる！お化け図鑑』

中右瑛／監修 パイインターナショナル
請求記号: 721ハ
ISBN: 978-4-7562-4810-7



子どもから大人まで人気の妖怪やお化け。古くは江戸時代の幕末期にも妖怪や幽霊話の小説や芝居が人気で、浮世絵のモチーフとしても取り入れられました。奇想天外な造形のお化けたちが綿密かつ大胆に描かれ、その発想の豊かさに目を奪われます。

『「めんどくさい」がなくなる台所』

足立洋子／著 SBクリエイティブ
請求記号: 596. 9ア
ISBN: 978-4-7973-8801-5



この本では、「台所仕事がめんどくさい...」と感じている人に向けて、がんばらないで楽しく続けられる台所術を紹介しています。献立、買い物、片付け、収納など、今すぐ試してみたい技が満載です。

『「こつ」と「スランプ」の研究 身体知の認知科学』

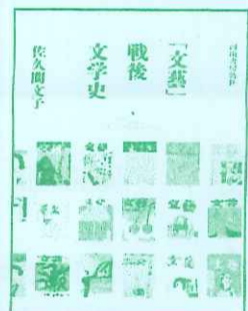
諏訪正樹／著 講談社
請求記号: 141. 5ス
ISBN: 978-4-06-258628-3



自転車の乗り方や、スポーツ、楽器演奏、仕事のやり方など、実際に体を動かし身につけた「身体に根ざした知」＝「身体知」と、その研究について紹介しています。イチロー選手なども例にとり、専門的な内容が分かりやすくまとめられています。

『「文藝」戦後文学史』

佐久間文子／著 河出書房新社
請求記号: 910サ
ISBN: 978-4-309-02497-4



1933年創刊から、戦争、経営危機、様々な時代を乗り越え、たくさんの人に支えられながら続けてきた文芸誌「文藝」。80年以上も続くこの雑誌がたどってきた歴史を綴った一冊です。

えいふくイベントレポート

「相続であわてない！

～今からできる事前準備」

9月30日（金）午後2時～4時

永福図書館の重点収集である「生活に役立つ法律情報」に関連した講演会です。遺言書の書き方や各種後見人の選定など、今からできる準備について、行政書士・司法書士の視点からお話いただきました。



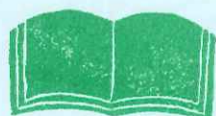
後見人制度の基本的な説明から具体例、遺言書を書く際の留意点などの話に参加者は聞き入り、30分の質問時間には収まりきらず、終了後も熱心に講師と話していらっしゃいました。



相続問題に関する講演会は、毎回杉並区全地域から参加者が集まり、関心の高さを感じます。永福図書館では、3階にコーナーを設置し関連本を展示しています。ぜひお立ち寄り下さい。

今月のスポット展示 11/5（金）～11/30（水）

「図書の分類～請求記号が7からはじまる本～」



図書館は本を分類するために、本の背に請求記号をつけています。杉並区の分類では、新書は請求記号のついていないものもあります。今月は本来であれば請求記号が「7」から始まる新書や文庫を集めました。音楽や絵画・彫刻など芸術や、スポーツ・レクリエーションなどの運動に関する分野の本です。

永福図書館からの

お知らせ

開館時間 (月曜～土曜) 午前9時～午後8時
(日曜・祝日) 午前9時～午後5時

11月の休館日
4日(金)、17日(木)

杉並区立郷土博物館協働企画 講演会

「杉並永福の歴史と文化」

永福地域の古代から現代までの歴史についてお話しさせていただきます。

【日時】12月3日(土) 14:00～15:30 (開場13:30)

【講師】駒見敬祐(郷土博物館 学芸員)

【場所】永福図書館 地下講座室

【定員】55名(申込順)

【対象】中学生以上

【お申込み】11月11日(土)朝9:00より受付開始。

お電話または永福図書館1階カウンターにて受付いたします。

★杉並区立郷土博物館では11月27日(日)まで

「祭りばやしのひびき—杉並の祭礼と郷土芸能—」と題した特別展を開催中です。関連行事も多数開催されています。

講演会に参加される前に、郷土博物館を訪れてみてはいかがでしょうか？

問合せ：永福図書館(杉並区永福4-25-7 ☎ 03-3322-7141)

永福の本棚 2016年11月号(通巻233号)

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。